



# 国際短期大学 専任教員紹介

項目	内容
名前	栗田 健一
職名	専任講師
最終学歴	北海道大学大学院経済学研究科経済システム専攻 博士後期課程修了 博士（経済学）
所属学会等	進化経済学会
	経済学史学会
論文・著書等	『「小売業態研究ゼミナール」におけるアクティブラーニングの試み』 （平成 31 年 3 月 国際短期大学紀要第 33 号）
	『 Community Currency and Sustainable Development in Hilly and Mountainous Areas: A Case Study of Forest Volunteer Activities in Japan』 （共著）（平成 30 年 8 月 Routledge ）
	『 The Diversity and Evolutionary Process of Modern Community Currencies in Japan 』 （共著） （平成 30 年 2 月 International Journal of Community Currency Research）
	『 What kinds of volunteers become more motivated by community currency?-Influence of perceptions of reward on motivation- 』 （共著）（平成 27 年 3 月 International Journal of Community Currency Research 19）
	『地域通貨を活用したコミュニティ・ドックによる地域社会の活性化』 （共著） （平成 24 年 10 月 全労済協会「公募研究シリーズ」25）
	『CC Coupon Circulation and Shopkeepers' Behaviour-A Case Study of the City of Musashino, Tokyo, Japan- 』 （共著）（平成 24 年 6 月 International Journal of Community Currency Research 16）
	『中山間地域の活性化に向けた地域通貨の活用法に関する研究-高知県の町NPO法人「土佐の森・救援隊」の活動を中心に』 （共著）（平成 24 年 1 月 生協総研賞第 8 回助成事業研究論文賞）
	『地域通貨流通実験前後における貨幣意識変化に関する考察-東京都武蔵野市のケース-』 （共著） （平成 22 年 8 月 グローバルCOE「心の文化・生態学的基盤に関する研究拠点」ワーキングペーパーNo.118）
	『社会活動による貨幣意識の差異-地域通貨関係者と金融機関の比較から-』 （共著） （平成 22 年 8 月 企業研究（中央大学企業研究所）第 17 号）
	『地域通貨プロジェクトの効果と課題-学際的アプローチに基づく地域コミュニティ活性化の評価と考察-』 （平成 22 年 3 月 博士論文（北海道大学）第 9346 号）
主な経歴	北海道大学大学院経済学研究科 専門研究員、横須賀市政政策推進課都市政策研究所 研究員
	新宿区新宿自治創造研究所 研究員、外務省経済局国際経済課 経済調査員
	川崎市立看護短期大学、東京農業大学、高崎経済大学、群馬高等専門学校等で講師を歴任
その他	平成 22 年 10 月 科学研究費補助金 若手研究（B）採択